

コミュニティへの参画 およびコミュニティの発展

食に関する文化や価値観は、国や地域だけでなく世代によっても異なります。グローバルに事業を展開する私たちは、地域社会や国際社会の一員として、多様な文化や価値観を尊重し、地域の持続的な発展に寄与するとともに、将来世代への食育活動にも取り組んでいきます。

食育

食は健康の源と考え、正しい食に関する知識や理解を深める食育活動に、工場見学や出張授業など、様々な機会を通じて取り組んでいます。

📌 中期目標と実績

私たちは、2023年度までに食育体験者を年間10万人以上に、さらに2028年度までに年間15万人以上に拡大することを掲げています。



食育体験者数

2018年度	5.0万人	うち工場見学3.6万人
2019年度	6.3万人	うち工場見学3.6万人
2020年度	4.1万人	うち工場見学0人

集計対象

株式会社ロッテ

■ 工場見学

(株)ロッテの浦和工場と狭山工場では、工場見学を受け入れています*。工場見学では、食の安全・安心についての取り組み現場を実際に見学していただくとともに、環境への取り組みなどをご説明しています。現休止期間中には、来場者様へ感動体験をさらにお届けできるよう、浦和工場見学施設の大規模リニューアルを行っております。

* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年2月より工場見학을休止しております。再開時期については、決まり次第ホームページでお知らせします。



工場見学

■ リモート工場見学

(株)ロッテでは、リモート工場見学を予定しています。全国各地のお客様にご参加いただけるリモート工場見学では、工場製



造ルートのご案内に加え、原材料や製造方法についてのこだわりや工夫をご紹介しながら、見学者へのクイズ形式の質問も交え、インタラクティブな工場見学を行います。

■ バーチャル工場見学

(株)ロッテでは、原材料の調達や加工から製品が完成するまでの工程を、図や動画とともに分かりやすくご紹介しているバーチャル工場見学をHP上に開設しています。



☐ <https://www.lotte.co.jp/entertainment/factory/>

■ 出張授業

小学校で出張授業を行っています*。製品開発をする上で大切な考え方などを楽しく学んでいただき、子どもたちにはおかし開発のワークを通して、新しいアイデアを考えてもらうなど、創造的思考力の育成につながる授業を行っています。

* 授業実施の際には換気・消毒など新型コロナウイルス感染拡大対策を十分に講じています。なお、感染状況に応じ、オンラインでも実施しています。



出張授業



子会社の取り組み

🔴 メリーチョコレートカンパニー

2009年よりメリー桜プロジェクトを行っています。当プロジェクトは、国内の小学校で子どもたちと一緒に桜の植樹を行う活動で、2020年度は熊本県相良村立相良北小学校、島根県出雲市立大社小学校、富山県富山市立古沢小学校の計3校で桜の木の点検と植え替えを行いました。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援として、医療従事者や介護従事者の皆様、児童養護施設の子どもたちにチョコレートの寄付を行いました。



児童養護施設の子どもたちからのメッセージ

🔴 ロッテウェデル(ポーランド)

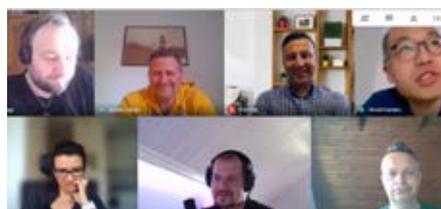
■ CSR 課題の整理を実施

約170年の歴史を持つロッテウェデルでは、これまでのCSR活動の振り返りとステークホルダーとの対話によって、今後注力すべきCSR課題の抽出を行いました。この対話には、「地域社会」「事業環境」「従業員」をテーマに、約100人が参加し、160以上の課題について議論を行いました。その結果、以下の3つの注力すべき課題を設定しました。

人	2 健康を ゼロに	3 すべての人に 健康と福祉を	8 働きがいも 経済成長も	10 人や国の不平等 をなくそう
イノベーション	12 つくる責任 つかう責任			
環境	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう		

■ Wedel Academy

ロッテウェデルでは左記の注力すべきCSR課題に基づいて取り組みを行っています。その1つが、従業員の技能を基盤とするWedel Academyの活動です。2020年度は初めてオンラインによるワークショップを開催しました。従業員が、医療介護施設および教育施設の若者と知識や能力、趣味の共有を行い、彼らが施設の中あるいは施設を離れてからも活躍できるよう様々な分野からサポートを行っています。



■ 再生可能エネルギーの導入

ロッテウェデルでは2020年2月より使用電力のすべてを風力発電由来の再生可能エネルギーに切り替えました。再生可能エネルギーの導入によって、2020年度はCO₂排出量を約12千トン削減しました。



■ 第三者認証油の調達

ロッテウェデルでは、2021年度までに使用パーム油をRSPO認証などの第三者認証油に100%切り替えることを目標に掲げています。2020年度に調達したパーム油のうち、第三者認証油は57%でした。今後も、RSPOへの関心を高めるための活動などを通じて、持続可能なパーム油の普及に貢献していきます。

▶ タイロツテ

■ 寄付活動

タイロツテでは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援として、児童養護施設等へチョコレート菓子の寄付を行いました。



▶ ロツテベトナム

■ キシリトールの啓発活動

ロツテベトナムでは、2021年1月から5月にかけてハノイ・ホーチミンの計38校の大学を訪れ、イベントや講義を通じてキシリトールの効果について啓発活動を行いました。同時に歯科健診を実施し、学生たちの歯と口の健康維持のサポートもし

ています。また、小学校を訪問し、口腔内を健康に保つ大切さとキシリトールの効果を伝えています。



▶ ロツテインドネシア

■ 現地の文化への対応

ロツテインドネシアではイスラム教を信仰する従業員のためにオフィスおよび工場に礼拝所を設置しています。イスラム教の礼拝時間に合わせて、1日に5回、礼拝のために約10分の休憩を認めています。



支援

▶ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援

■ 医療従事者への支援

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、最前線で働く医療従事者の皆をサポートする目的で、(株)ロツテおよび(株)メリーチョコレートカムパニーより新型コロナウイルス感染症対応に従事されている医療機関へWeSupport*を通じてお菓子の無償提供を行いました。

* WeSupport: オイシックス・ラ・大地(株)が(一社)RCF、ココネット(株)(セイノーホールディングスグループ)と連携して2020年4月20日に設立したプラットフォームで、新型コロナウイルス感染症の予防や治療にあたり、健康と命を守ってくれている医療従事者を食品の物資支援でサポート。食品の提供を希望する企業や団体と、支援を必要とする病院とのニーズのマッチングを行い、受け取り時に病院側の負担や迷惑にならず、必要なものが必要な場所に、安全にお届けできる仕組みを提供。

■ 子育て家庭への支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける子育て家庭を応援するため、(株)ロツテは公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン*1のプロジェクトである「夏休み 子どもの食応援ボックス*2」を通じてお菓子の無償提供を行いました。

*1 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン: 1919年に設立された民間・非営利の子ども支援活動を行う国際組織。日本では1986年より子どもたちの貧困や虐待等の課題解決に取り組み、新型コロナウイルス感染拡大時には、経済的に困難な状況にある家庭を対象に、子どもたちの食の状況改善や遊びの機会確保を目的とした食品等の物資支援でサポート。

*2 夏休み 子どもの食 応援ボックス: 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける子育て家庭を応援するため、ザ・コンシューマー・グッツ・フォーラム 日本サステナビリティ・ローカル・グループとWRI10×20×30食品廃棄削減イニシアティブ 日本プロジェクトが、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協業する、子どもたちに食品の詰め合わせボックスを届ける取り組み。複数の団体で協業することで単一の団体や企業では実現が困難な、詰め合わせのバラエティ、規模の拡大を行い、効率的かつ持続可能な運営の仕組みを提供。